

シター

～緑小学校 特集～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

緑小学校では、校庭の改修工事に伴い、学校敷地内にビオトープが設置されました。ビオトープの完成に至るまでには、iCS関係者の皆様からの多大なご助言・ご尽力をいただきました。今号では、緑小学校の「地域とともにある学校」の姿をご紹介します。

ビオトープの完成に至るまで

緑小学校では、地域のグリーンボランティアのみなさまの協力のもと、以前から、緑豊かな学校の特徴を生かした環境教育が進められています。

CS委員は、環境教育を推進するために、学校敷地内に自然を体験する場があることが望ましいと考え、校庭改修のタイミングにあわせてビオトープを設置することを、CS委員会として教育委員会に要望しました。

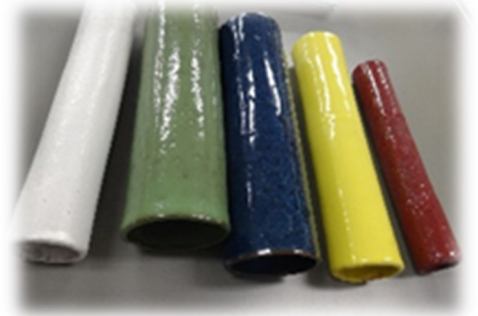
ビオトープの設置が決まってからは、当時の5年生（現6年生）が、総合的な学習の時間においてビオトープの今後について考え、それを「ビオトープの未来図」としてまとめ上げました。CS委員は、そういった子どもたちの想いをくみ取り、実現するためCS委員会で熟議を重ねました。

熟議を重ねる中で、「ビオトープの維持管理は大変なので、児童が主体となって管理できるような体制を地域がバックアップしていこう」「学校支援地域本部が調整役となり、維持管理の体制を整えていこう」ということが決まりました。本物の自然と触れ合うときに子どもたちの表情が大きく輝く様子を目にし、子どもたちの笑顔のために地域と学校がどのように連携していくべきかCS委員会で熟議し、様々なアイデアを提案し、その実現につなげていただきました。

その取り組みの一つとして、地域の木工クラブの方々に、ビオトープの目印となる『看板』の作成をお願いしました。子どもたちが看板のイメージを絵に描き、その絵をもとに看板を作り上げていただきました。看板は箱



型をしており、反対側には園芸用具を収納できるスペースがあるなど、地域の方々の知恵がたくさん詰まった看板となりました。また、地域の陶芸クラブの方々には、ドジョウの隠れ家となる筒（焼き物）も作成していただきました。



そして4月27日（水）には、ビオトープ完成お披露目式がとり行われました。これまで関わってくださった多くの地域の方々が見守る中、ビオトープにたくさんの生き物が棲むことができるよう願いつつ、テープカットも行われました。

児童代表から「私たち6年生は、ビオトープのことを大切に考えながら作り上げてきました。緑小学校の皆さんもビオトープの未来をしっかりと考えながら、みんなで温かく見守っていきましょう！」という力強い言葉があり、それを聞かれた地域の方々から、今後の維持管理については、学校支援地域本部を中心に地域で支える体制を作っていくとのうれしいお言葉を



いただきました。

ビオトープを通して、自然のつながりだけでなく、人と人とのつながりを持ち、「地域とともにある学校」の実現に向けて進んでいっしやる様子が見られた、緑小学校のiCSでした。

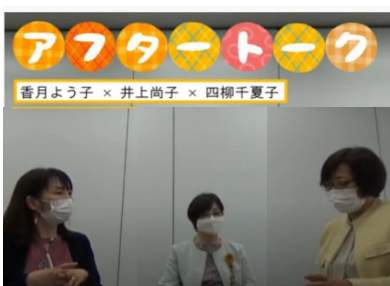


熟議についてのヒント、お伝えします！

～iCSオンライン研修会アーカイブ配信のお知らせ～

令和3年度に「iCSアドバイザー」として、22校のCS委員会を訪問した3名のアドバイザーによるオンライン研修会（令和4年3月17日開催）のアーカイブ動画を配信しています。

熟議のヒントや、CS委員としてどのように関わっていったらよいかなどについて、お話いただきました。オンライン研修会終了後に、3名のアドバイザーがCS委員会訪問を振り返って感じたことなどを座談会形式でお話した、「アフタートーク」も配信しています。配信期間は、令和4年8月31日までです。是非ご覧ください！！



動画の視聴は、こちらから ➡

（板橋区ホームページにつながります。ページ内の「動画配信について」より、配信中の動画にお進みいただけます。）

